

発明推進協会・大阪発明協会共催企画

米国企業に学ぶ 米国クレームドラフティング

| | | | |
|----|--------------------------|----------------------------|---|
| 講師 | 高橋 明雄 氏 | 弁理士法人グローバル・アイピー東京 代表弁理士 |  |
| 日時 | 2026年6月2日(火) 13:30~16:30 | | |

◆日本語クレームをより正確な英語で表現することにより、米国クレームの品質が向上すると考える日本の特許実務家は少ないと思います。もちろん、日本語クレームを正確な英語で表現することは重要です。しかし、原文となる日本語クレームの型によっては、どれだけ正確な英語で表現したとしても、日本語クレームと同じように米国審査官によってクレーム解釈されるとは限りません。

◆本セミナーでは、米国企業の公開クレームを具体例として多数取り上げ、米国クレームドラフティングの基本である構成要件列挙型について徹底的に解説することにより、ゴールとして目指すべき米国クレームの型に対する理解を深めることを目的とします。

◆また、複雑な内容の発明であっても構成要件列挙型で明確に記載するために必要となるテクニックもお伝えします。

◆なお、本セミナーでは、米国クレームの型に着目することから、題材となる発明の内容やその表現の是非については取り上げません。また、主に電気／機械分野の題材を取り上げ、化学／バイオ分野の題材は取り上げません。

<対象> 米国特許権利化に携わる方

<講師略歴>

2003…東京大学理学部物理学科 卒業
2005…東京大学理学系研究科物理学専攻 修士課程修了
2005…キヤノン株式会社 入社 (知的財産法務本部)
2009…グローバル・アイピー東京特許業務法人 入所
2010…米国特許試験合格
2011…米国特許事務所駐在 (ワシントンDC)
2013…グローバル・アイピー東京特許業務法人 代表弁理士就任

【本研修で取り上げる主なポイント】

- ◆ 構成要件列挙型
- ◆ 物のクレーム／方法クレームの基本形
- ◆ プリアンブル
- ◆ 従属クレームの基本形
- ◆ クレームに関する法律・規則
- ◆ Claim Differentiation
- ◆ 独立分詞構文
- ◆ 関係代名詞
- ◆ wherein節
- ◆ Jepson Claim
- ◆ ミーンズプラスファンクションクレーム
- ◆ システムクレーム

※極力多くの受講者の方に理解を深めていただくために、講座内容・プログラムの一部を変更する場合がございます
あらかじめ、ご了承ください

テキストはPDFで共有させていただきます



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 & アrchive配信も実施 (各講義翌日から2週間)

・聞き逃しても安心!期間内はなんどでも、
・再生速度を変更可能!

| | | |
|-------|---|---|
| 受講料 | 会員12,750円 一般15,000円(※税込) |  |
| 申込 | 「発明推進協会 研修」で検索 http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaikenshu_tanki.html | |
| お問合せ先 | (一社)発明推進協会 研修チーム TEL 03 3502 5439 | |